

さあ。
すすめてみよう！

1. 対象地域とテーマ設定

(実行委員会による打ち合せ)

※ 調査対象とする地域とUDまちづくりが目指すテーマを設定します。

当手引きでは、岡山県とNPO法人まちづくり推進機構岡山が協働で実施した「UDまちづくり推進手法策定調査（平成 17 年度モデル地域：倉敷市中心市街地/平成 18 年度モデル地域：真庭市勝山地区）」の成果を調査手順の実例として紹介しています。

対象地域の設定

まずは、ワークショップやまち歩き調査の対象範囲となる対象地域の設定を行います。地図を用意し、地域の主要な施設や道路等の位置を確認しながら、多くの人が利用すると予想されるエリアを中心に対象地域の範囲を考えます。その際、地域によっては住民だけでなく観光客などの地域外の人でも利用する施設を想定することも大切です。対象地域の範囲は歩いて移動可能な距離、約 1 km 圏内が適当でしょう。

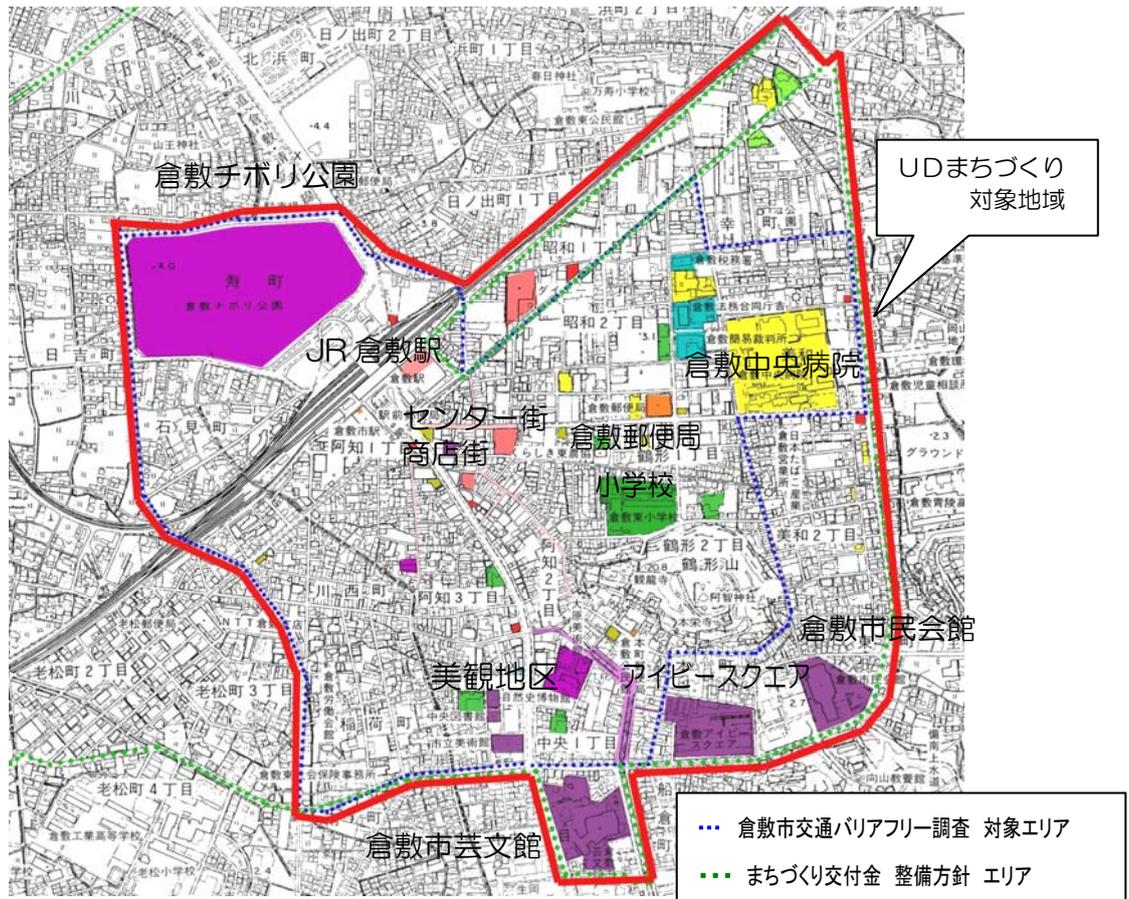
テーマの設定

対象地域の設定と同時に、その地域の特性に即したUDまちづくりのテーマを設定します。テーマ設定の際には対象地域内にある主要な施設の概要や、地域の人口や高齢化率、観光地への入込客数等を参考にしながら、エリアの特色を反映させます。テーマを設定することで、参加者の視点が共有でき、話し合いの中からその地域のイメージが広がり、取り組みを円滑に進めることができます。

対象地域及びテーマの設定の手順

1. 都市計画図を用意する（A3 程度に縮小したもの）
2. 主要施設の名称を書き込む
3. 地域の特徴を整理しながら対象地域やテーマを設定する

倉敷市中心市街地での対象地域設定例



テーマの設定

年をとっても歩いて楽しめるまち・倉敷

～ 対象地域とテーマ設定のポイント ～

倉敷市中心市街地では、日常的に歩いて移動する人や観光客（初めて訪れる人）が多いと同時に、高齢化が進行しつつある地域です。そのため、倉敷美観地区、倉敷チボリ公園、JR倉敷駅、倉敷中央病院等の施設など市内外からの来訪者や高齢者の訪れることの多い施設を含んだ設定とし、テーマを「年をとっても歩いて楽しめるまち・倉敷」としました。

1. 対象地域とテーマ設定

真庭市勝山地区での対象地域の設定例



テーマの設定

れきし・くらし・おもてなし・歩いて楽し・勝山のまち

～ 対象地域設定のポイント ～

真庭市勝山地区では、「のれんの町並み」や「ひな祭り」などで観光客が増加しつつある観光地であると同時に自然や風情が豊かな生活の場でもあります。そのため、観光客と地元住民が共存している町並み保存地区を中心に、観光施設、官庁、学校、病院、商店、銀行等の主要施設をもれなく含んだ設定とし、テーマを「れきし・くらし・おもてなし・歩いて楽し・勝山のまち」としました。